

# 令和5年度 指定障害福祉サービス事業所マザーグースの家 事業報告

## 1 定員、実利用者数(令和 6年 3月末日現在)

事業種別	定員	契約者数	実利用者数
生活介護	40人	41人	41人

## 2 延べ利用者数

	R5 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6 1	2	3	合計 平均
延べ利用者数(人)	742	811	798	810	813	791	816	775	816	822	765	866	9,625
平均利用率(実利用者数/定数)	84.3%	88.2%	90.7%	88.0%	88.4%	89.9%	88.7%	88.1%	88.7%	89.3%	91.1%	94.1%	89.12%
前年度延べ利用者数(人)	749	793	771	800	702	750	803	731	731	735	711	624	8,900
前年度平均利用率(実利用者数/定数)	85.1%	86.2%	87.6%	87.0%	76.3%	85.2%	87.0%	84.0%	84.0%	80.0%	89.0%	87.0%	84.87%

## 3 障がい支援区分

	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均
令和6年3月末日現在	0	2	23	16	41	5.4
前年度3月末日現在	0	4	21	14	39	5.3
比較	0	-2	2	2	2	0.1

## 4 職員の勤務年数

	2年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	20年～
施設長						1
サービス管理責任者				1		
生活支援員	9	3	4	2	1	
事務員	1		1			
看護師	1(1)			1		
管理栄養士						
その他(運転手・調理)	4		2			

## 5 事故報告書

	転倒	他害・物損	異食	所在未確認	衛生	服薬	自傷
R5.4～R6.3	12	13	1	1	3	1	6

傾向として、他害は噛みつき、物損は他害からの物損、自傷から窓ガラスを割ることが多かった。  
対策として、強化ガラスへの取り換えをしている。来年度は、別の場所も順次強化ガラスにしていく。

## 6 ヒヤリハット報告

	走り出し	物損未遂	異物混入	携帯電源入れ忘れ	車内座席から離れる	転倒
R5.4～R6.3	3	1	1	1	1	1

## 7 各委員会の報告

- 感染症及び食中毒の予防のための委員会(旧感染対策委員会)  
5月(食中毒対策)、7月(コロナ対策)、10月(感染症予防・館内カビ対策)実施
- 虐待防止のための対策検討委員会 実施  
4月新人職員向けの虐待防止・身体拘束研修  
7月オンラインにて障がい者虐待防止・身体拘束等の研修
- 身体拘束の適正化のための対策検討委員会 実施  
虐待防止のための対策検討委員会とともに研修を実施

## 8 行事

サークル活動	月2回のスポーツデイ 偶数月(絵画)、奇数月(書道)
行事	30周年記念行事(地域参加行事)、二十歳を祝う会、ハロウィン、クリスマス会、 (公)徳島県文化振興財団芸術家派遣事業(コンテンポラリーダンス) 各班外出行事(少人数)

## 9 保健

ご利用者の検温の実施  
来園者の記録簿(検温、健康及び行動確認、連絡先等の確認)  
基本的感染対策の実施(コロナによるクラスター0件)  
嘱託医による定期巡回

## 10 防災

令和5年10月避難訓練・通報訓練実施。  
令和5年11月水害訓練実施  
令和5年11月避難訓練・消火訓練・通報訓練実施。

## 11 研修

内部研修	ハラスメント研修(WEB)、障がい者虐待防止法研修(WEB)、虐待等新人職員研修		
	メンタルヘルス研修、腰痛予防研修、感染症対策研修、口腔ケア研修、食中毒予防研修		
外部研修	徳島県知的障害者福祉協会施設長会・理事会・各種部会・四国地区施設長会議 徳島県保健所管内集団給食施設協議会 総会 研修会		
	板野町人権推進協議会 総会 障害者施設職員研修会(初任研修コース)		
	甲種防火管理新規講習	強度行動障害支援者基礎研修	雇用管理者講習
	スーパービジョン研修	産業保健関係者研修会	地域共生社会推進研修
	徳島県障がい者虐待防止・権利擁護研修会	施設長・管理運営職員研修	高校生のための就職面接相談会
	強度行動障害の支援・お悩み相談	障害者施設におけるリスクマネジメント	安全運転管理者講習
	働きやすい魅力ある職場づくり経験交流会	障害者虐待防止マネージャー研修会	弁護士を活用施設虐待の検証
	全国グループホーム等研修会	地域ネットワークコミュニティ合同セミナー	

## 12 苦情解決

ご家族様からの苦情1件あり。  
丁寧にお話を伺い、今後の支援に生かした。

## 13 地域交流

マザーグースの家30周年記念事業を徳島県立総合教育センターで実施し、関係者以外で、地域の方にも参加していただいた。

板野町障害者ふれあい大会への参加、板野町人権啓発展への作品の展示、地域の方々と共に作品の見学を行った。

地域を交えたお祭りやイベントはコロナの感染防止のため中止した。

## 14 まとめ

数年前まで平均支援区分は5.2であったが、年々重度化が進み、令和5年度末には平均支援区分が5.4となった。

重度の方の支援、強度行動障害の方の支援をするにあたって、多くの支援員に強度行動障害支援者養成研修(基礎)(実践)を受講してもらい、支援の基礎を学んでもらっている。

強度行動障害の対象利用者さんが半数を超えるため、まずは施設内の安全な環境づくりを考えることとした。

その一つとして、館内の窓ガラスを順次強化ガラスにしていくことで、自傷や器物損壊によるガラスが割れることへ対応している。このような環境整備は、引き続き令和6年度も継続し、必要な対応を事前に行い、けがを防ぎ、利用者さんにとって安全安心の施設を作っていく。

また、BCP(業務継続計画)を含め、地域の障害を持たれている方々に対し、開かれた施設であるため、まずは、NPO法人いたののあせびと事業継続計画連携協定締結書を結び、支援員同士がともに学び、利用者さん同士がともに行事などを行い、関係を深めながら、災害時などお互いに協力し合えるパートナーであり、地域福祉を支える資源としてあり続けることを考え協定を結んでいる。

令和5年度に協定を結んだことで令和6年度より2施設でのBCP訓練、職員研修を実際に行っていくたい。

年度途中で管理栄養士の退職があり、急遽給食形式で配達してくれる業者と契約した。年度末を持って契約を満了。令和6年度からは、マザーグースの家自前の厨房での食事提供を再開する。新しい管理栄養士のもと、温かく、おいしく、個々に合った食事の提供を行う。

## 令和5年度相談支援事業報告書

板野郡委託契約相談支援件数…384件 相談方法、対応は以下の図の通り。

図1		相談者				計
		本人	家族	関係機関	その他	
年度月別	4月	9	11	15		35
	5月	12	10	8		30
	6月	10	9	9		28
	7月	12	6	11		29
	8月	17	4	7		28
	9月	14	4	5		23
	10月	18	4	12	1	35
	11月	13	12	14		39
	12月	8	3	15		26
	1月	13	6	18		37
	2月	10	7	14		31
	3月	24	7	12		43
	計	160	83	140	1	384
	図2		本人	家族	関係機関	その他
相談方法	訪問	62	20	23	1	106
	来所	3	16	4		23
	同行	4	1			5
	電話	61	39	110		210
	メール	29	6	2		37
	個別会議	1	1	1		3
	関係機関					
	その他					
	計	160	83	140	1	384
図3		本人	家族	関係機関	その他	計
時間帯 1	06:00～07:59					
	08:00～17:59	159	82	138	1	380
	18:00～05:59	1	1	2		4
	計	160	83	140	1	384
図4		本人	家族	関係機関	その他	計
相談内容	福祉利用	31	41	87	1	160
	障害理解	1				1
	健康医療	11	2	3		16
	不安解消	101	39	28		168
	保育教育					
	家族人間	1		5		6
	家計経済	2				2
	生活技術	5		2		7
	就労支援	8	1	15		24
	社会参加					
	権利擁護					
	その他					
	計	160	83	140	1	384

指定特定相談支援計画作成 障がい者…49件 障がい児…5件

指定特定相談支援モニタリング 障がい者…61件 障がい児…0件

指定一般相談支援事業地域相談支援 障がい者…0件

### 課題

相談支援事業では板野郡5町と委託契約を結び、地域の事情や状況に合わせて障がい者（児）またその家族と直接関わり、相談を重ねながら各関係機関と連携して各福祉サービス利用へと繋げている。

本人家族の生活変化に合わせて利用希望される福祉サービスも変更となる場合があり、丁寧にアセスメントをすることで、より良いサービスにつながる場合がある。本人家族が安心して福祉サービスが利用できるよう支援をしていきたい。

# 令和5年度 指定放課後等デイサービス事業所マザーグース7 事業報告

## 1 定員、実利用者数(直近月:令和6年3月)

事業種別	定員	契約者数	実利用者数
放課後等デイサービス	10人	11人	11人

## 2 延べ利用者数

	R5 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6 1	2	3	合計 平均
延べ利用者数(人)	137	138	166	136	109	132	130	108	120	111	70	122	1,479
平均利用率	68.5%	69.0%	75.5%	68.0%	54.5%	66.0%	61.9%	60.0%	57.1%	58.4%	46.7%	61.0%	62.2%
前年度延べ利用者数(人)	124	119	162	148	104	116	131	131	115	126	119	143	1,538
前年度平均利用率	56.4%	51.7%	73.6%	64.3%	47.3%	52.7%	57.0%	59.5%	50.0%	54.8%	59.5%	62.2%	57.4%

## 3 職員の勤務年数

	2年未満	2～5年	5～7年	7～9年	9～14年	14年～20年
所長兼児童発達支援管理責任者					1	
児童指導員等	2	1				

## 4 事故報告

	他害	飛び出し
R5.4～R6.3	1	1

## 5 ヒヤリハット報告

	家庭との連絡ミス	転倒
R5.4～R6.3	1	1

## 6 各委員会

- 虐待防止のための対策検討委員会 実施  
4月、9月2月に実施。
  - 身体拘束の適正化のための対策検討委員会 実施  
上記会議と同日実施。
- いずれも特に問題なし

## 7 行事

室内だけでなく屋外行事を再開している。  
夏休み・冬休み等の長期学校休業日期间は、日替わりで行事を感染対策を行い実施。

## 8 防災

火災・水害を想定した避難訓練を2回実施した  
5月、11月に実施  
水害避難訓練結果報告書  
11月に板野町に提出

## 9 研修

内部研修	ハラスメント研修	AED講習	虐待防止研修
外部研修	徳島県障がい者虐待防止・権利擁護研修・自立支援協議会 子ども支援ネットワーク会議・集団指導		

## 10 まとめ

現在、マザーグース7では、強度行動障害の児童への支援が課題となっている。  
家庭との話の中で、学校での課題、放課後等デイサービスでの課題を出し合い、その中でできることを、個々の児童に無理なく支援していくことを大切にしている。  
令和6年の報酬改定で5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」

「人間関係・社会性」を含む総合的な支援が求められる中で食事、排せつなどの介助はこれまでも行ってきた。適切な支援の中で、男児への同性介助ができない場合のみ異性介助となることのを了承をとっている。

強いこだわりがある児童に対しても、学年を問わず、適切に指導ではなく支援の姿勢で向き合っていく。

## 令和5年度 マザーグースの家 日中一時支援事業 事業報告

### 1 定員

事業種別	定員
日中一時支援事業	10人

### 2 延べ利用者数

月	R5.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6.1	2	3	合計
延べ利用者数(人)	2	0	0	2	0	0	0	0	2	1	0	2	9
昨年度比延べ利用者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 3 まとめ

学校のコロナ感染状況を把握し、日中一時を受け入れている。延べ人数としては2名であるが両名とも当施設とのマッチングができ施設利用につながっている。

今後も地域の要望があれば受け入れていく。